

都市みらい通信 IFUD LETTER

Institute for Future Urban Development



【目次】

・ 合同講演会の開催	P 1
・ プロジェクト説明会の開催	P 2
・ 平成24年度まちづくり情報交流協議会全国大会の開催	P 4
・ 文化を活用したまちづくりの推進・継続等を支援するための「情報提供」のご案内	P 5
・ 機構の活動状況	P 8

§ 合同講演会の開催

都市みらい推進機構、都市地下空間活用研究会及びアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）の三者合同による第15回目の講演会を、7月3日（火）都市計画会館において開催いたしました。本講演会は、国土交通省・都市局の関係各課から講師をお迎えし、毎回ホットなテーマに関してご講演を頂いております。今回は、都市計画課・都市計画調査室長の中村室長をお迎えし、『低炭素都市とまちづくりと』と題して、約1時間半に渡ってご講演をいただきました。

以下はご講演内容の概要です。

講演内容の概要

1. 都市を取り巻く課題

- ・ 人口減少・少子高齢化
- ・ 自動車利用の拡大、公共交通機関の疲弊
- ・ 拡散する市街地、中心市街地の空洞化

2. 低炭素都市づくり

- ・ 人口減少に適應する集約型都市構造への転換が不可欠であり、低炭素型社会の実現に大きく寄与
- ・ 集約型都市構造の実現に向けた戦略的な取組の方向





- 多様な分野において公民が一つの目標を共有して施策展開
- 交通施策と市街地整備との連携を深め、実現のための環境と条件を整備

3. 低炭素都市づくりガイドライン

- ・低炭素都市づくりの考え方

現在の CO₂ 排出量を把握し、どの分野でどのような施策を実施するか自己診断することが必要であり、「交通・都市構造」、「エネルギー」、「みどり」の分野別に 9つの方針をガイドラインで提示

4. 早急に講ずべき都市の低炭素化に関わる施策

- ・都市の低炭素化全般
- ・都市機能の集約と公共交通機関の利用促進等
- ・エネルギーの効率的な利用の促進
- ・建築物の低炭素化
- ・緑地の保全・緑化の推進
- ・都市の低炭素化に係わる各主体の役割
- ・目標設定、施策の効化の評価と調査・分析手法の改善
- ・制度の不断の見直し



5. 都市の低炭素化の促進に関する法律案

- ・都市機能の集約化
 - 集約都市開発事業の認定制度
 - 駐車場法の特例
- ・公共交通機関の利用促進等
- ・緑地の保全及び緑化の推進に関する特例
- ・未利用エネルギーの利用の促進等

上記の内容をパワーポイントを使用して分かりやすくご説明をいただき、その後4名の方からの活発な質疑応答があり、低炭素まちづくりに関する関心の深さが伺えました。

本シリーズについては、国土交通省・関係各課にご協力をいただきながら今後も進めて参ります。

§ プロジェクト説明会の開催

都市みらい推進機構では、皆様方が関心を持っておられる都市開発プロジェクトを選定し、現地にて、当該プロジェクトのキーマンから詳しい説明をして頂く「プロジェクト説明会」を毎年開催しております。



福島原発事故を契機に環境、資源、エネルギー問題等が話題となっており、スマートシティが脚光を浴びています。今回はスマートシティの先進的な事例として「柏の葉スマートシティプロジェクト」の説明会を、アーバンインフラ・テクノロジー推進会議と合同で、三井不動産株式会社様のご協力を得て、6月19日（火）に開催いたしました。

今回の「柏の葉スマートシティプロジェクト」は、会員の皆様の関心が高く約50名の方の参加を頂き、三井不動産（株）・柏の葉キャンパスシティプロジェクト推進部長の河合 淳也様より、約1時間渡ってスマートシティプロジェクトの概要説明をして頂き、その後現地見学を行いました。

柏の葉スマートシティプロジェクトは、「世界の未来像をつくる街」の実現に向けて、「環境共生都市」「健康長寿都市」「新産業創造都市」の3つの課題解決モデルを提示し、大学や企業、市民など誰もが街づくりに参加できるプラットフォームによって「公民学連携による自立した都市経営」のモデルをめざすとのことです。

3つ課題解決モデルの主な内容

①環境共生都市

- ・ エネルギー効率利用・防災対策
- ・ CO₂ 排出量削減
- ・ 交通システム
- ・ 自然共生・農業

②健康長寿都市

- ・ 日本型健康ライフスタイルの創出

③新産業創造都市

- ・ 創業育成
- ・ グローバルネットワーク





§ 平成 24 年度まちづくり情報交流協議会全国大会の開催

(第 8 回定期総会、第 7 回まち交大賞表彰式及び都市再生整備計画講習会)

「都市再生整備計画事業」を活用して地域の創意工夫を活かしたまちづくりの推進を目指す地方公共団体が集う「まちづくり情報交流協議会」の全国大会が、7月12日(木)全国220地方公共団体の参加のもと、東京都千代田区永田町の星陵会館ホールにおいて開催されました。

同協議会定期総会では会長の野志克仁松山市長並びに来賓の国土交通省都市局望月明彦市街地整備課長にご挨拶をいただいたあと、平成23年度事業報告及び収支決算、平成24年度事業計画及び収支予算、並びに役員改選について審議を行い、承認を得ました。

なお、総会に続き第7回「まち交大賞」の表彰式、最後に下記のテーマで都市再生整備計画講習会が行われました。

【定期総会における議案及び報告】

- 第1号議案 平成23年度事業報告(案)について
- 第2号議案 平成23年度収支決算(案)について
- 第3号議案 平成24年度事業計画(案)について
- 第4号議案 平成24年度収支予算(案)について
- 第5号議案 役員改選(案)について
- 第1号報告 企画運営委員会委員について
- 第2号報告 ウェブ情報交流部会委員について
- 第3号報告 今後の主なスケジュールについて
- 第4号報告 平成23年度共同研究「超高齢化社会と地域コミュニティのあり方に関するまちづくり調査」(結果)について

【都市再生整備計画講習会におけるテーマと講師】

1. 「都市再生整備計画を活用した官民連携によるまちづくりについて」
講師 国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室 係長 小林 孝 氏
2. 「都市再生整備計画事業(旧まちづくり交付金)について」
講師 国土交通省都市局市街地整備課 係長 田嶋 靖夫 氏
3. 「まち交大賞受賞地区の事業概要について(第7回まち交大賞 豊後高田市)」
講師 大分県豊後高田市企画情報課 主任 井上 重信 氏



第8回定期総会の様子



会場の様子



第7回まち交大賞 各受賞者



講習会の様子



§ 文化を活用したまちづくりの推進・継続等を支援するための「情報提供」のご案内

文化は、地域のアイデンティティを代表し地域の誇りの源泉となり、情報発信力が高く地域の内外をつなぐ役割を担うことができ、また、まちづくりのあらゆる領域に関連性を持つことができるため、まちづくりに対して大きな影響を与えることが期待できます。

そして近年、文化的な機能をまちづくりに効果的に組み込むことにより、地域の課題を解決し、まちの魅力・価値向上につなげているケースが全国で見られます。しかしその一方で、まちづくりを成功に導くためには、こうした取組を一時的・短期的なもので終わらせず、継続・発展させることが重要です。

このような認識のもと、当機構は、国土交通省からの委託（平成 23 年度）により、文化を活用したまちづくりの推進・継続等を支援するツールとして、(1) 文化活用したまちづくり「総合 WEB サイト」を立ち上げるとともに、(2) 文化を活用したまちづくり「情報交流 SNS」を開設し、(3) 文化を活用したまちづくり「手引き」を作成しました。

皆様にもこれらを是非ご活用頂きたいと考えており、以下に紹介いたします。

(1) 文化を活用したまちづくり「総合 WEB サイト」のご紹介

□ サイトの目的

文化を活用したまちづくりを指向する不特定多数の参加者（文化を活用したまちづくりに関心を有する主体や地域で実際に活動されている方々など）に様々な情報を提供するとともに、参加者の情報交流等を支援することを目的に構築しました。

□ サイトの構成

- 1) 情報提供機能（文化を活用したまちづくり「手引き」(PDF 形式) 等の掲示)

【次項参照】

- 2) 文化を活用したまちづくり「情報交流 SNS」入口 **【次項参照】**

The screenshot shows the homepage of the website. Callout boxes highlight the following features:

- 1) 情報提供機能** (Information Provision Function): Culture Utilized Town Making 'Handbook' is available in PDF format for public access.
- 2) 文化を活用したまちづくり「情報交流 SNS」入口** (Culture Utilized Town Making 'Information Exchange SNS' Entry): Currently, SNS registration is in use.
- 3) 情報交流掲示板** (Information Exchange Bulletin Board): Anyone can post and view information on the 'BBS Bulletin Board'.
- 4) リンク集** (Link Collection): Includes links for associations, organizations, and groups related to culture utilization.

文化を活用したまちづくり総合 WEB サイトのアドレス：
<http://www.toshimirai.jp/bunka-machi/index.html>



3) 情報交流掲示板 (BBS 掲示板)

4) リンク集

(2) 文化を活用したまちづくり「情報交流 SNS」のご紹介

□ SNS の目的

全国のまちづくりの担い手の方々がここに集って情報交換し、それを生かすことで、各々のまちづくりを一層効果的に進めるためのツールとして開設しています。

□ ご登録の方法

登録制で運営しており、全国のまちづくりの担い手の方々や専門家の皆様にご登録頂いています。皆様にも是非ご活用頂ければと考えています。

ご登録をご希望の方は、bunkamachi@toshimirai.jp までご連絡願います。追って、招待メールを送信いたします。



(3) 文化を活用したまちづくり「手引き」のご紹介

□ 手引きの目的

手引きは、文化を活用したまちづくりの実践や継続・発展を支援することを目的とし、実際にまちづくりに取り組む方々の「悩み」を解決する糸口などを提供することを意図して作成しました。

□ 手引きの編集方針

手引きは、まちづくりの担い手が、まちづくりの実践に際して活用する「ヒント集」として編集しました。また、手引きのユーザーが、まちづくり仲間等とともに意見などを出し合って、具体的な検討ができるように、「型通りの模範解答の提示」や「Q&A 方式」を避け、地域の実情に応じてアレンジしながら活用できるように、末尾に「書込み形式のワークシート」を設けました。



手引きの特徴
 →「使いやすさ」「検索しやすさ」
 「コンパクト性」の観点を重視
 →汎用性を重視

5. 文化を活用したまちづくりを継続するためのワークシート

1. まちを知る、再認識する

2. まちづくりの全体像を構築する

3. まちづくりの組織（体制）や運営内容を具体化する

4. まちづくりの手段、テクニックを適用する

5. まちづくりの手段、テクニックを適用する

文化を活用したまちづくり「手引き」の特徴

→「使いやすさ」「検索しやすさ」
 「コンパクト性」の観点を重視
 →汎用性を重視

文化を活用したまちづくり 手引き

はじめに

はじめに

はじめに

文化を活用したまちづくり「手引き」は、①当機構受付、②文化を活用したまちづくり総合WEBサイト (<http://www.toshimirai.jp/bunka-machi/index.html>) にて頒布しています（無料）。



§ 機構の活動状況

日	6月	日	7月
1	国際展開についての国土交通省との意見交換会	3	合同講演会（低炭素まちづくり法（案）について：国交省 都市計画課）
8	第6回震災復興支援 WG		
12	平成24年度土地活用モデル大賞第1回審査委員会		
19	プロジェクト説明会 <柏の葉スマートシティプロジェクト>		

【機構関係諸団体】

《都市地下空間活用研究会》

1	国際展開についての国土交通省との意見交換会	3	低炭素まちづくり法（案）について合同講演会
5	第26回評議員会、第25回通常総会、講演会&意見交換会	4	八重洲・京橋・日本橋全体会
6	地下防災勉強会打合せ	10	都市交通システム海外展開研究会
19	八重洲再開発協議会説明	10	ベトナム副大臣来日対応資料作成打合せ
		10	国際交流部会・事業部会合同会議
		11	地下利活用検討分科会新宿SWG
		12	北京地下空間調査団対応打合せ
		13	八重洲地下街活動報告
		18	地下利活用検討分科会 WG
		20	早大カレッジ講演

《アーバンインフラ・テクノロジー推進会議》

1	国際展開についての国土交通省との意見交換会	3	合同講演会（低炭素まちづくり法（案）について：国交省 都市計画課）
5	第41回評議員会、第25回通常総会、講演会&意見交換会	17	第4回低炭素まちづくり研究会
19	第2回都市基盤施設整備見学会 <柏の葉スマートシティプロジェクト>	26	第23回技術研究発表委員会

《まちづくり情報交流協議会》

27	第2回企画運営委員会、第1回ウェブ情報交流部会	12	平成24年度 全国大会（第8回定期総会、第7回まち交大賞表彰式、都市再生整備計画講習会）
----	-------------------------	----	--

（一財）都市みらい推進機構

住所 東京都文京区関口1-23-6
 プラザ江戸川橋ビル201号
 電話 03-5261-5625
 FAX 03-5261-5629
 Email kikaku@toshimirai.jp

ホームページもご覧下さい
<http://www.toshimirai.jp/>

当機構は、「新しい都市拠点形成等の都市活性化に関する総合的な調査・研究、情報・資料の収集等、民間の技術と経験を活かしつつ、地域社会と調和した活力ある都市づくりの推進を図ること」を目的として、昭和60年7月29日に設立された財団法人です。

- ・都市再生整備計画事業支援
- ・都市拠点開発・都市再生支援
- ・中心市街地活性化支援
- ・低・未利用地有効活用支援
- ・エリアマネジメント企画 他